

新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症の市中感染が始まりました。

- 現在、新型コロナウイルス感染症の検査は一般臨床では出来ません。したがって、普通の風邪なのか、コロナウイルス感染症なのかを区別することは出来ません。
- 幸いなことに、小児の感染者数は少なく、ほとんどの場合、普通の風邪の経過をたどって治癒します。インフルエンザのような抗インフルエンザ薬はありませんので、特別な治療法はありません。重症化（肺炎の併発）は、通常の風邪の症状が約7日間続いた後に、呼吸が荒くなり起こっているようです。

保護者の方にお願ひがあります。

- 風邪にかかったときは、医療機関の受診を控えて、自宅療養してください。
- 市販の「総合感冒薬」「胃薬」「整腸剤」「抗アレルギー薬」は、初期治療としては十分な効果があります。普段から常備薬の用意をしてください。
- 風邪をひいたときは、マスクをしてウイルスの飛散を防いでください（咳エチケット）。
- アルコール、次亜塩素酸による清拭を行ってください。
- インフルエンザの流行は、だいぶ収まっていますが初期より高熱が続く場合には、発熱後24時間～48時間に検査を受けてください。
- 高齢者、特に持病のある方への接触を避けてください。現在、新型コロナウイルス感染症では、肺炎の併発が問題です。高齢者で持病のある方の重症化が問題となっていますので、初期段階で風邪を他人に移さないことが重要です。
- 風邪予防をお願いします。
 - 生活リズムを崩さない。（早寝早起き）
 - 3食をきちんと食べる。（バランスの良い食事が大切）
 - 人ごみを避ける。
 - 流水で手洗い（東京都感染症情報センター、「ガチャピン・ムックの正しい手洗い方法」の動画を見てください）、うがい（温かいお茶）、頻回の水分（温かいお茶）摂取が重要です。

普通の風邪に潜んでいる新型コロナ感染症を重症化しやすい方へ感染させないようにすることが重要です。よろしくお願ひします。

なお、新型コロナ感染症を疑った場合（4日間以上の発熱、呼吸困難等）には、相模原市保健所の相談センターに電話の上、指定医療機関を受診してください。

令和2年2月

よこ田こどもクリニック 院長 横田行史